

- 0.はじめに
- 1.製図試験.com コンセプト
- 2.選ばれている5つの理由
- 3.合格までの学習工程
- 4.コース解説
- 5.直接・オンライン指導コース日程.
- 6.学習アイテム一覧



0.はじめにー今の学習受験体制に満足していますか？

はじめまして、製図試験.com 代表の山口です。数あるサイトの中で製図試験.com によろこ。

弊社は 2000 年に学科製図.com としてスタートし、これまで 2600 余名の一級建築士を輩出してきたサイトです。これまでに一級建築士設計製図試験にまつわるテキストを学芸出版社より 6 冊上梓してまいりました。

現在、8 割弱の受験生が資格学校に通っている一方で、実は資格学校離れが進んでおり、資格学校一択の時代ではなくなっているのもまた事実で、様々な通信添削や中小指導塾が存在しています。これだけインターネットが生活のベースになり、情報があふれかえっているにもかかわらず、未だに資格学校に通わざるを得ない選択肢しかないのか、今の受験体制でいいのだろうかという疑問を持った方がこのサイトに訪れていただいているのだと感じています。

1.製図試験.com コンセプト

弊社が一貫して主張していることは以下の 4 点です。

(1) 多くの選択肢がある方がベター

資格学校での内容がぴったり当てはまる方も当然おられますが、当てはまらない方もまた多いのが事実です。インターネットの情報はどこまで信頼できるのかもわからないし、内容が伴わないサイトや通信添削があるのもあるかもしれません。それでも多くの選択肢がある方が受験生にとってはベターだと考えています。最も悲惨なのは、合わない学校やしぐみを選んでしまうことです。選択権は常にあなたにあります。

(2) 投資資金とその回収予定

資格学校に通うと学科からだ 100 万円くらいかかってしまいます。近年 T 社が非常に廉価で始めたのは、内容はともかくとてもよい傾向だと思っています。仮に一級建築士に合格すると 1 万円手当が付いたとします。それで 100 ヶ月、約 9 年弱その資金回収にかかるわけです。2 年行くと 18 年。子供が成人するくらいかかるわけです。でも 18 年後、もう一級建築士はおろか日本もどうなっているかわからないのに、そんな額の自己投資をするのはちょっと疑問があります。私なら年 20~30 万円程度で取得したいのが一級建築士というイメージです。

(3) 試験を通じて「建築する」ことを学べるしくみ

私自身、関西国際空港旅客ターミナルビル設計を通じて、レンゾピアノ氏及び諸先輩方々から本当に多くのことを学びました。レンゾピアノの建築観は日本の設計事務所の考え方とは大きく異なるものがあり、設計製図試験を通じてその建築観を受講生の皆さんに伝えたいという想いがあります。(2) に絡むことですが、一級建築士の資格自体で投資回収をすることは難しいのですが、「建築する」*1 ことを体得すれば、生涯においてあなたはそれを使うことができます。

*1 建築する：情報を集め、カテゴリに分類し、使える状態でストックする行為。

(4) 「絶対合格」をめざす。

「絶対合格」とは、試験会場で「時間です。止めてください。」と試験官が言った瞬間に、「今年は合格できた」と確信できる境地です。サッカーで言うと 1 対 0 で辛勝ながらイメージ通り完勝という感じでしょうか。予測していた事態、アクシデントを全て乗り越えて勝利を確実にもぎ取るイメージです。弊社では常に「絶対合格」をめざしています。

では弊社が選ばれている理由を点にまとめましたのでご覧ください。

2.製図試験.com が選ばれている5つの理由

これまで多くの合格者を輩出してきた製図試験.com が選ばれているにはいくつかの理由があります。その多くは資格学校や他の通信添削では得られない内容を含んでいます。じっくりご覧ください。

1.エスキースを描き出すステップ学習

弊社では「合格ラインの大枠から外れない」、「減点要素が少ない」、「確実に完成させる」ための基礎知識力と問題対応力を身につけることにターゲットしています。それは製図試験が減点法による採点が基本になっているため、不合格にならない答案図面を作成することこそが合格の鍵だからです。

そのため問題文の読解方法、エスキース手法の確立を徹底的に解説し、「解き方を理解する」ためにエスキースの描き出し指導を行っています。エスキースは描き出すことでそのプロセスも添削することができます。しかし資格学校ではエスキースは添削せず（できず）、単に問題を解くこと、宿題をこなすことで合格をめざしているのが現状です。

2.類似過去問題を徹底的に分析

学科試験を突破された方のほとんどは過去問題を解いてきたはずですが。でも製図試験は別物と思うせいか、製図試験の過去問題を解いていない方が非常に多いのです。過去問題には多くの製図試験のしぐみが埋め込まれています。そしてそれは生き物のように変化しているため、単に解くだけではダメで、その背後にあるメタ背景のようなものを理解することが必要不可欠なのです。弊社では、7月までの期間（前半戦と呼んでいます）において、過去問題のうち特に重要な課題を選定し、徹底的な分析を行います。昨年度もこの解説が非常に好評でした。2019年度は基準階課題であろうと考えられるため、基準階問題にある程度絞った分析を行います。

3.少ない課題数で無理ない学習計画

単に課題を多く解きたい方は、資格学校に通うことをお勧めします。製図試験は、たったひとつの建物を計画するだけの試験です。あなたが建築設計で基本計画案を任された際にいろんな敷地で計画するでしょうか。もちろんひとつの敷地で計画しますよね。建築士に求められている能力は、いろんな敷地で計画できる力ではなく、その敷地で最適解を提案できる能力です。そのための最適解を答えられるように多くの問題を解くというのはひとつの選択肢でしかありません。もっとじっくり練って考えたり、逆にひとつの敷地で多くの可能性を考えていく練習もひとつの学習方法なのです。

弊社では、前半戦は月1課題、試験課題が発表後の後半戦では2週に1課題というペースで出題しています。これでもまだ多いくらいです。じっくり考える、その際、他受講生の方も観る、そのことで「深める」ことが重要だと位置づけています。特に課題を多く解くことで、解くことが目的になってしまい、こなすだけで精一杯、とても深められないという声をあちこちで聞きます。それは明らかに問題数過多です。近年 T 社も少ない課題作戦を始めました。選択肢としてはありだと思います。

4.問題制作者が直接添削・解説

弊社では今のところ代表の山口本人が問題制作者であり、そして直接あなたの答案を解説・添削することで、各課題の狙いを確実に伝えます。これは意外と重要で、直接指導を受けるのと、それを伝えた講師から指導を受けるのは、似て非なる部分があります。なぜなら問題作成者の意図を理解していない講師も多く、また問題作成の意図が不明な問題も多いからです。私自身は、自身が作成した問題について、これはこういう点はいい問題だと思うとか、ここはハマってすみません、ということオープンに伝えています。課題への疑問点が直接問題制作者に聴けるというのは大きなメリットだと感じています。また2019年度より遠方者でも直接動画で話せるオンライン指導コースを設けています。

5.リーズナブル価格の提供

製図試験.com では、初年度の方、試験経験者の方、資格学校に通っている方、地方の方等様々な受験生のニーズを実現しつつリーズナブルな費用のコースを提供しています。あなたの学習環境・経済環境に応じてコースをお選びください。

では合格までの学習工程について解説しましょう。

Cf:サブテキストの利用について

製図試験.com では様々なサブテキストをお勧めしています。それは製図試験との距離感を重視しているからです。熱心すぎる受験生ほど製図試験との距離感を失ってしまいがちです。約 4 割が合格するそれほど難しくない試験なのですが、問題を受験生自身で難しくしてしまう傾向があります。

そこで試験を俯瞰できる力が不可欠になりますが、それは製図試験テキストでは不可能です。製図試験を相対化するためには、非製図試験テキストが不可欠であり、お勧めしているのは下記の 3 冊です。

「地頭力を鍛える 問題解決に活かす「フェルミ推定」」細谷 功 東洋経済新報社

メタ思考のためには「地頭力を鍛える」が最も参考になります。
一級建築士取得後も必ず役に立つテキストです。



「仕事のミスが絶対なくなる頭の使い方」宇都出 雅巳 クロスメディア・パブリッシング

高速大量回転法の提唱者で山口の速読術の師匠でもある宇都出先生の快著。
これ 1 冊で合格する人も出てくるミスをなくするためのノウハウテキストです。



「一流をめざすメンタル術」鈴木颯人 三笠書房

2019 年度より封印していたメンタルトレーニングを復活させます。
理由はできる受講生に限って、意外にメンタルが弱いことを再認識したからです。
鈴木先生の「ポジティブアスキング」は是非お勧めしたいメンタル技術です。



3.合格までの学習工程

全体のカリキュラムは 1 月からスタートし、本年度試験課題発表までを前半戦、発表から試験当日までを後半戦とし、全てを合わせた期間を通期と呼んでいます。ここでは主に後半戦のスケジュールと学習方法について解説します。

合格スケジュール

後半戦は 4 つのタームに分けています。学科試験が 7/28 で 1 週遅くなったため、第 1 タームがタイトになっています。

7月下旬 試験課題発表～	見学・資料集め (open 課題、第 1 課題)
8月中旬 夏期休暇～	本試験課題分析対策 (第 2 課題)
9月上旬 学科合格発表～	課題対応実問題対策・弱点補強 (第 3・4 課題)
10月上旬 最終週～	まとめ：クールダウン (第 5 課題+まとめ)

■製図試験.com 合格工程表(ver20190520)

	前半戦					後半戦				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	基礎固め			詳細基礎固め				課題対応	問題・弱点補強	クールダウン
Udemy基礎講座										
メルマガ										
自己分析課題										
過去問題特訓										
●受験申込					●受験申込					
第1課題										
第2課題										
第3課題										
第4課題(模試)										
●課題発表								●課題発表		
open課題										
夏期講習会										
課題分析帖+問題集										
第1課題										
第2課題										
第3課題										
●学科合格発表									●学科合格発表	
第4課題										
第5課題(模試)										
●本試験										●本試験
セミナー	●キックオフ							●課題解説セミナー		●直前セミナー
講習会(全10回)		◎	◎	◎	◎	◎		夏期 ◎	◎ ◎ ◎ ◎	

製図試験.com の学習方法の特徴

・合格への王道：ステップで細分化

製図試験は様々な条件が組み込まれつつも、ひとつの建築物の計画が出題されます。加えて回答に至るまでに、問題文読解、エスキース（ゾーニング＋プランニング）、要点記述、作図、見直しの5工程で構成されています。この5工程全てを時間内に行うための実技演習を積むことが、試験対策としての学習方法になります。

弊社では、読解を9ステップ、エスキースを4ステップ、記述・作図を9ステップ、見直しと合計23ステップに細分化しています。全てのステップは毎回必ず利用し、時間内に回答に至らない場合はどこかに不備があります。それを全て克服することがこの試験の合格への王道です。

・自己分析すること

まず自身の不合格要因となっているステップの不備を見つけ、それを克服する必要があります。そのためには自己分析が不可欠です。弊社では、最初に自己分析課題に挑戦していただき、どのレベルのどのようなことができているのか、できていないのかを、添削しています。そこで学習プランを立て、目標を明快にして試験に臨むことが合格への第一歩と考えています。

・試験分析をすること

次に「一級建築士設計製図試験」とは何なのかを理解するために、過去問題分析が不可欠です。受験生の多くは意外にも過去問題分析をしておらず、結局「製図試験」とは何なのか分からないまま、課題を解いているだけの方が多いです。弊社を始め、資格学校でも過去問題をバラして、自社課題の中に取り込んでいますが、一次資料の過去問題に当たらずして、二次資料の課題を解いても本当の試験は見えません。そのくらい過去問題の分析は重要です。

・各ステップの精度を上げる戦い

自己分析して自身の弱点を知り、試験分析をして試験問題のポイントを理解すれば、合格するために必要なポイントが見えてくるはずですが、そこから各ステップの補強と精度を上げる戦いとなります。苦手な部分をより深く理解すること、より幅広く理解することで、苦手意識を取り除きます。不明な点はできる限り即答できるシステムとして LINE ライクな BAND や ZOOM といったアプリを会員サポート用に導入しています。

そしてポイントになるのが反復練習です。細分化したステップについて、できない部分はトレースからおこない、できるまで何度も何度も練習することです。「できる部分まで細分化しできるまでやる。」これが唯一のコツです。

・バランス感覚やメタ思考を身につけること

積上げた各ステップを統合すること＝出題されるのは1問なのですから、この統合する能力が必要になります。烏合の衆ではなく磨き上げた各ステップのはずですが、サッカーで各選手が一流でもチームとして強いかは別であるように、この統合が上手いかないと機能しません。各ステップの統合には、バランス感覚やメタ思考が重要な役割を果たします。

これらを身につけるには、自身の答案と解答例の間にある無数の可能性を読み取ることが最も近道であり、それには同じ課題をいかに他受講生が解いているのかという情報が必要です。そこで添削カリキュラムではオンライン課題レビューやフリーディスカッションを重視しています。

・メンタルを鍛えること

メンタルについては、本年度から心理カウンセラーでもある代表の山口が、本試験のイメージトレーニングを導入し、試験メンタルの育て方について指導します。長い間封印していたのですが、近年の本試験での崩れ方を観て、再度メンタルトレーニングを始めることにしました。

次に製図試験.com コースと利用方法について解説します。

4.コース解説

弊社には受験生の状況にあわせて、1.教材／2.添削／3.オンライン指導／4.直接指導の4コースがあります。まずコース生共通の特徴・特典は下記の通り5点あります。

- ・全ての課題関連資料は紙ベースで送付＋ダウンロード
- ・ZOOM オンラインを利用した課題解説レビューの受講
- ・メルマガ「一筆入魂」とは別にコース生専用メルマガ送付
- ・コース生専用メンバーズサイト BAND で自由に質問可能
- ・講習会、教材の全てがコース生価格で提供

①教材コース

教材のみが必要な受験生用コース。教材は下記の表にあるように、課題、解答例、解題、解説、過去本試験問題から厳選したもの、本年度課題分析帖等があります。h30年度の課題分析帖はサンプルで公開しています。主に資格学校に通っている方を中心に、問題と解答例だけがが必要な受験生用のコースです。

②添削コース

教材＋ZOOM 解説＋通信添削 ①の教材だけではなく、図面添削指導のあるコースです。通常、通信添削と言われている講座はこれにあたります。図面はタッチを観るため郵送をお願いしていますが、PDFでの送付でも受け付けています。

③オンライン指導コース

教材＋ZOOM 解説＋通信添削＋オンライン講座。昨年実験的に始めたオンライン指導を3歩くらい進めて、オンライン指導コース生としてのコミュニティ感のあるオンラインコースを開催します。ご自宅でエスキースや図面が描ける＋パソコン＋wifiが使える環境であれば、ご自宅がそのまま教室に変わります。遠方での受験生は特にお勧めできます。

④直接指導コース

教材＋ZOOM 解説＋通信添削＋直接指導教室。東京(日曜日開催)、大阪(土曜日開催)のスクーリング教室です。スケジュールについては後述する5.コース日程のページをご覧ください。

■コース教材一覧

		教材*2	ZOOM*3	添削	O/L*4	直接*5	後半戦費用 (積上→割引価格)
1.メルマガ		情報配信用及びコース生用があります。					0円
2.基礎講座		建築計画の基礎を学ぶためには不可欠な講座です。					下記コースに込
3 コ ス	①教材コース	○	○				139,080→114,000円
	②添削コース	○	○	○			231,800→190,000円
	③OL 指導コース	○	○	○	○		261,800→220,000円
	④直接指導コース	○	○	○		○	366,800→310,000円

*2：課題(後半5課題)、解説、解題、解答例、問題集4課題

*3：ZOOMを使った他受講生図面・課題解説＋各種データダウンロード(30GB～)

*4：前半戦月2回程度、後半戦週1回程度。③④の答案を中心にオンライン解説予定

*5：前半戦月1回程度、後半戦隔週＋自習教室隔週(つまり毎週)

Cf:どのコースがオススメなのか。

どのコースを選んだらよいのかという質問をよく受けます。また直接指導コースって資格学校のスクーリングとどこが異なるのかともよく聞かれますので簡単にまとめてみました。

④直接指導コース

スクーリングでは1日かけて丸々1課題解くようなことはしません。課題は事前に解いてきて、午前中はその課題レビューから始めます。次にその内容を巡っての講義。そしてそれを受けてワーク（例えば動線図を何度も描く等）を行います。また別途自主ゼミ形式ですが、場所を確保して6時間勝負で課題に挑戦していただけます。

（定員12名程度、大阪（土）残席3、大阪（水）残席5、東京（日）残席2）

③オンライン指導コース

課題レビューはZOOMオンラインで行います。また直接指導で行っている講義の部分とワークの解説を別途ZOOMで行います（水曜日夜を予定）。また必要に応じてオンライン個別指導します。講義は後日ビデオ学習で何度でもご覧になれます。

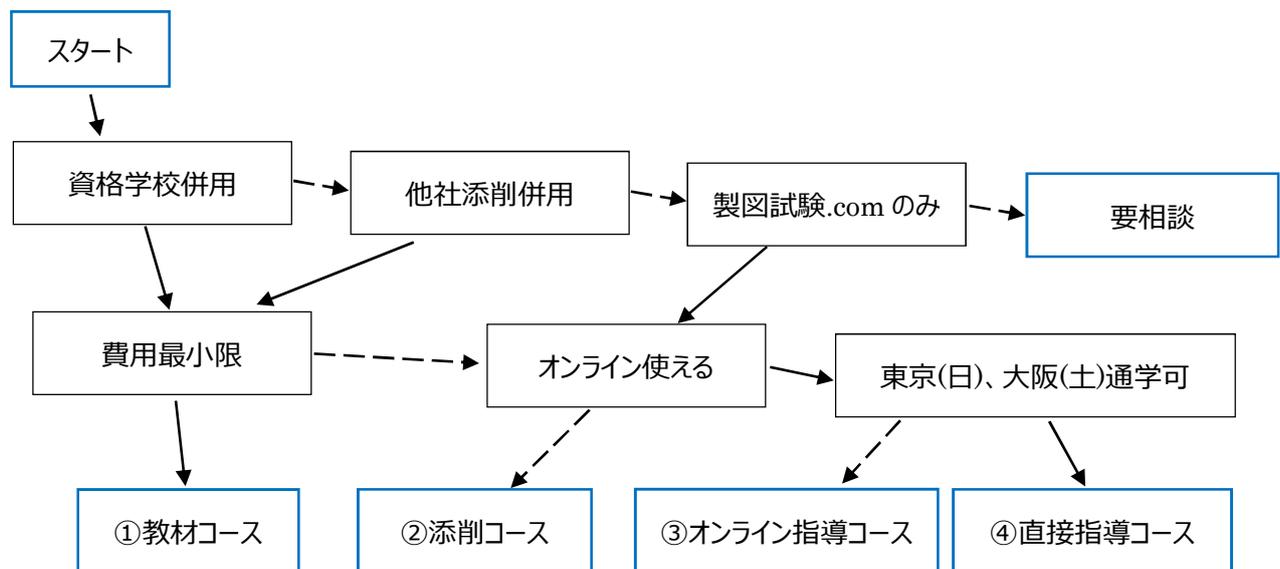
②通信添削コース

通信添削のみであってもZOOMオンラインでの課題レビューの閲覧はできるのでそれを参考にしつつ、図面添削で学習します。オンラインが苦手とか、学習環境が整わない受講生もおられるため、このコースを作りました。BANDというLINEライクなサポートサイトを使えるので、BANDを介して質問できます。

①教材コース

全ての資料と教材を手に入れることができます。またZOOMオンラインでの課題レビューも受講できますし、BANDサポートで質問もできます。添削がない分最もリーズナブルです。資格学校併用者にはお勧めできます。

■コース決定フロー



ハイ → いいえ →

5.直接指導・オンライン指導コース日程

直接指導コースの日程は下記の通りです。東京が日曜日、大阪が土曜日（希望者ありの場合は水曜日も開講）
オンライン指導コースは水曜日夜の予定で計画しています。

2019年度 直接塾コース講習会日程予定表

ver.190520

講習	大阪(水) /OL	大阪(土)	東京(日)	備考
6月建築見学会	6月8日	6月8日	6月15日	
6月講習会	6月6日	6月9日	6月10日	第4課題+プランニング
前半戦シンクロナ模試	7月6日		7月7日	模試
■後半戦				
ライブレクチャー	7月31日	7月30日	8月2日-3日	本試験課題解説
自主勉強会（講師なし）	7月31日	8月3日	8月4日	講師なし
夏期講習会（第1課題）	8月11日		8月12日	第1課題+a
夏期講習会（作図）	随時		8月13日	オープン講習会
自主勉強会（講師なし）	8月21日	8月17日	8月18日	
第2課題講習	8月28日	8月24日	8月25日	第2課題+a
自主勉強会（講師なし）	9月4日	8月31日	9月1日	
第3課題講習	9月11日	9月7日	9月8日	第3課題+a
自主勉強会（講師なし）	9月18日	9月14日	9月15日	
第4課題講習	9月25日	9月21日	9月22日	第4課題+a
特別講習	随時	随時	9月23日	弱点補強
後半戦シンクロナ模試	10月6日（日）		10月5日(土)	
直前最終講義	10月6日（日）	10月6日（日）	10月5日(土)	
本試験予定日	10月13日			

■全国へ講習懇親会を予定

現在、6月に東北、7月に中国・九州をはじめ、北海道、名古屋で少しでも多くの受講生や卒業生とお会いする計画を立てています。詳しくは、メルマガで配信します。

6.学習アイテム一覧

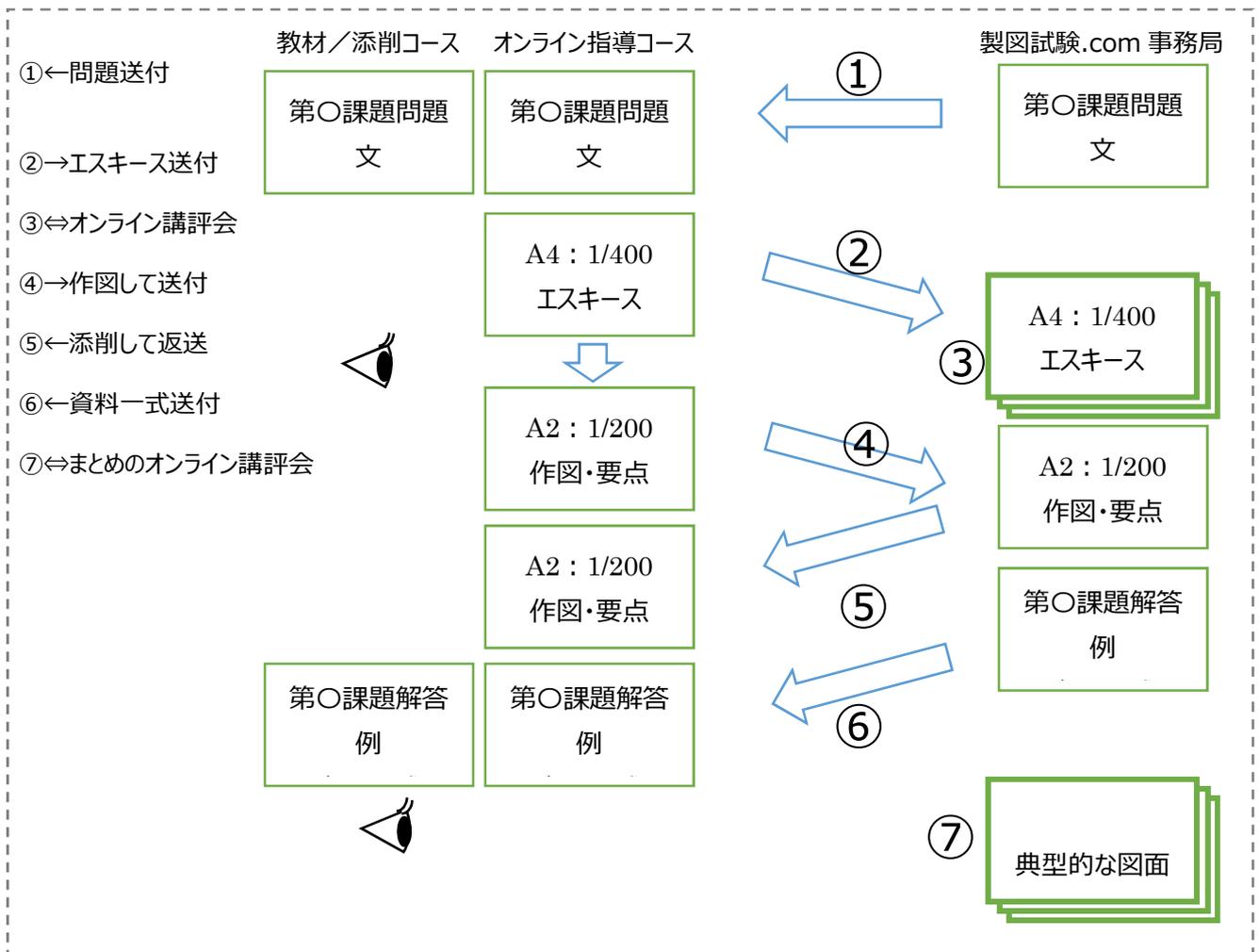
A:4つのコース+Udemy 基礎講座

A101S	通信添削 ①教材コース	対象：教材のみが必要な方	オススメ度◎
内容	<p>資格学校の課題だけでは、不安になる方。違う角度の問題を必要とする方のために、製図試験.comの通信添削課題教材一式のみを購入できるのがこのコースです。</p> <p>例年資格学校生を中心に、教材だけを希望する方が多いため、このコースを作りました。</p> <p>図面添削がないだけで、製図試験.comの通信添削コースの教材を手に入れることができます。</p>		
教材	<p>教材は下記の 10 大アイテムとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Udemy オンライン講座 (A001Y) ②後半戦 10 課題 (添削 4 課題 + 模試 + ⑤基礎問題集 4 課題+オープン課題を含む) ⑥2019 課題分析帖冊子 (B200Y)、最終まとめ資料 ⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権 ⑧オンラインレビュー-ZOOMの参加権 ⑨添削メンバー用メール配信 ⑩メンバーズサイト BAND 参加権 		
費用	69,000 円 (うち A001Y は 13,800 円) A001Y 不要なら 58,200 円	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算で可能です。

A201S	通信添削 ②添削コース	対象：教材 + 添削が必要な方	オススメ度○
内容	<p>A101S に図面の添削をセットしたコースです。ただしオンラインでの添削指導、レビューは行いません。</p> <p>オンライン環境が整うのであれば、③オンライン指導コースをオススメします。</p>		
教材	<p>教材は下記の 10 大アイテムとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Udemy オンライン講座 (A001Y) ②後半戦 10 課題 (添削 4 課題 + 模試 + ⑤基礎問題集 4 課題+オープン課題を含む) ⑥2019 課題分析帖冊子 (B200Y)、最終まとめ資料 ⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権 ⑧オンラインレビュー-ZOOMの参加権 ⑨添削メンバー用メール配信 ⑩メンバーズサイト BAND 参加権 		
費用	113,400 円 (うち A001Y は 13,800 円) A001Y 不要なら 99,600 円	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算で可能です。

A301S	通信添削 ③オンライン指導コース	対象：学校に通えない方で遠方の方	オススメ度◎
内容	オンラインによるコース生として学びます。		
教材	A101Sと同様		
内容	<p>製図試験.com のメイン教材です。</p> <p>これまでの通信添削コースでは、直接指導することがなかなか実現していませんでしたが、このオンライン指導コースでは、オンラインアプリ ZOOM を使うことによって、直接添削指導をすることが可能となりました。</p> <p>オンライン指導コースの方の特典は、</p> <p>①オンライン図面指導（課題レビューの際、取り上げて解説もしくは個別解説）</p> <p>②オンライン個別指導（オンラインで実際に図面と改善方法について個別指導します）</p> <p>③オンライン質問応答：ZOOM を使って、日々の疑問点を質問できます。とても表現しにくいのですが、オンラインで製図試験.com の事務所に訪問して質問するようなイメージ。</p> <p>④別途、直接指導コースで行っている講義をオンライン指導コース生にも開催。</p> <p>の4点です。</p> <p>特に資格学校まで遠方の方で、自宅で学校へ行く以上の指導を受けたい場合は、このコースをオススメします。</p>		
教材	教材は A101S の 10 大アイテム+オンライン指導です。 日程は別途 6.直接指導・オンライン指導コース日程をご覧ください。		
費用	132,000 円（うち A001Y は 13,800 円） A001Y 不要なら 118,200 円	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算

オンライン指導イメージ



A401S	通信添削 ④直接指導コース	対象：スクーリング可能な方	オススメ度◎
内容	<p>大阪は水もしくは土曜日に大阪市内西九条で、東京は日曜日に飯田橋でおこなっています。</p> <p>人数限定のスクーリングで席数には限りがあります。（東京・大阪共 12 名限定）</p> <p>通常の資格学校のようなスクーリングですが、前述したように終日問題を解くということはありません。</p> <p>1 日の講習イメージ</p> <div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> <p>10 時までに集合、事前課題の答案を人数分コピー</p> <p>10:00 図面レビューディスカッション 13:00 講義</p> <p>11:30 まとめ 15:00 ワーク</p> <p>12:00 ランチ 17:30 終了予定</p> </div>		
教材	<p>A001Y+上記直接指導（5回）及び自主勉強会（4回）を予定しています。</p> <p>日程は別途 6.直接指導・オンライン指導コース日程をご覧ください。</p>		
費用	194,800 円（うち A001Y は 13,800 円） A001Y 不要なら 181,000 円	備考	<p>全ての教材が含まれています。</p> <p>東京、大阪共に満席になり次第募集終了。</p>

A001Y	Udemy 基礎講座	対象：製図試験の基礎が学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>Udemy（ベネッセが運営補助）というオンライン講座を利用して、3つのオンライン講座が学べます。各種資料は、ダウンロード可能です。Udemy の講座は、合格するまで何度でもご覧になれます。下記 URL では講座のはじめの部分を無料公開しています。</p> <div style="text-align: right; font-size: 2em; color: red; font-family: cursive;">u</div> <ul style="list-style-type: none"> ◆エスキース講座 https://www.udemy.com/seizushiken101/ ・自己分析課題、エスキースステップ（ESTEP）解説、パーツ集の考え方/作り方 全 27 レクチャー ◆作図講座 https://www.udemy.com/seizushiken201/ ・作図手順（DSTEP）とその解説、作図練習の行い方、全 9 レクチャー + ボーナス 3 レクチャー ◆要点講座 https://www.udemy.com/seizushiken301/ ・建築計画系の要点、構造/設備系の要点の記述法、暗記テキスト付 全 16 レクチャー 		
教材	<p>Udemy 内に設定したオンライン講座。1 レクチャーあたり 3～20 分。スマホ、タブレット、PC で利用可能。</p> <p>自己分析課題問題/解題・解答例・パーツ集・計画の要点帖（以上ダウンロード版）</p>		
費用	34,800 円 コース生 13,800 円 (既受講者は合格するまで無償)	備考	<p>スマホ・タブレットでの閲覧は Udemy アプリが便利です。</p>

注) Udemy 基礎講座は 1 度申し込んだら合格するまで無償です。コースを申し込まれる方で以前に Udemy 基礎講座を申し込んでいる方は、**コース生 Udemy 分 13,800 円が減額**となりますのでご注意ください。

B:エスキース系テキスト

B100Y	ステップで攻略するエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>A001YのUdemy（ベネッセが運営補助）オンライン講座のベーステキストです。テキスト内容についてのオンラインサポートと本年度課題(h30 対応)のオープン課題解説を行っています。</p> <p>ISBN978-4-7615-3234-5C0052</p>		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版		
費用	3,000 円 + 税	備考	

B101Y	エスキースアプローチ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>エスキースの方法論を説いた製図試験.comの前身学科製図.comのテキスト平成12年～平成18年までの課題解説付。過去問題研究の上では重要なテキストとなります。絶版につき、弊社でのみ販売。</p>		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 978-4761502515		
費用	2,500 円 (コース生 2,000 円)	備考	残冊のみ

B102Y	わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>全室リストの原形となる図解法を解説したテキストでステップエスキースの原形本。h19 及び h21-h23 別刷過去問題解説付。絶版につき、弊社でのみ販売。</p>		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 978-4761524371		
費用	2,800 円 (コース生 2,200 円)	備考	残冊のみ

B103S	エスキースアプローチ+わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	B101Y+B102Y セット価格とします。		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 2 冊組		
費用	4,000 円	備考	残冊のみ

B104Y	エスキース FAQ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度○
内容	エスキースについて、よくある質問を問答形式でまとめました。 絶版だったのですが、コピー製本で復活させました。		
教材	A4 コピー製本 P128		
費用	1,800 円 (コース生 1,200 円)	備考	コピーしたテキストです。

B200Y	2019 課題分析帖+パーツ集	対象：h30 課題分析を学びたい方	オススメ度◎
内容	本年度試験課題を丸ごと解説。+本年度用エスキース手法をまとめています。 本年度受験するために必須のテキスト だと断言します。 コース生には全員配布します。 分析帖は 8 月中旬発送、パーツ集は 9 月上旬ダウンロード版となります。		
教材	コピー製本 40 ページ程度 + パーツ集 25 ページ程度		
費用	6,000 円 (分析帖 4,000 円 + パーツ集 2,000 円)	備考	コース生には含まれています。

C:製図作図系

C100Y	用紙セット (10 枚+10 枚)	対象：用紙が必要な方	オススメ度○
内容	製図試験用 A2 の解答用紙 (厚紙) +エスキース用紙 (薄紙) 10 枚ずつセット。 オンライン上では、さらに厚紙だけ、薄紙だけ購入することも可能です。 コース生には 7 枚+7 枚は含まれています。		
教材	A2 用紙		
費用	1,800 円 (コース生 1,500 円)	備考	段ボール 4 角柱に丸めて送付します。

C101Y	鉄腕作図テキスト+DVD	対象：3 時間作図ができていない方	オススメ度○
内容	作図方法の基本からポイントまでを解説したテキスト by 学科製図.com もう 10 年以上の隠れたベストセラーとなっています。 平成 18 年度課題をベースに解説しています。		
教材	鉄腕作図テキスト A4 : 50 ページ + 3 時間作図 DVD		
費用	3,500 円 (コース生 3,000 円)	備考	

その他、シャープペン、テンプレート、フローティングディスク等を製図用具も販売しています。

D:経験値系テキスト

D100Y	エマージェンシーマニュアル（復刻版）	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度○
内容	製図試験の経験値が少ない方、初受験の方に贈る試験会場で何が起きているのかというテキストです。平成 13 年、14 年版なのですが、平成 30 年でも十分読み応えがあり、コピー製本で復刻しました。		
教材	A4 コピー製本 P128 （元々は学芸出版社刊行）		
費用	1,800 円（コース生 1,500 円）	備考	

D290S	本試験再現図面集	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度○
内容	本試験分析をする上で欠かせない 1 冊。30 枚の本試験再現図面を解説。		
教材	A3 コピー製本 P50 （元々は学芸出版社刊行）		
費用	3,000 円（コース生 2,500 円）	備考	

E:セミナー・講習会・模試

弊社では直接指導する講習会を中心に、オープンな講習会及び模試を行っています。講習会は講義とワークショップで構成しています。その他、日程が合えば、地方他でも講習会を予定しています。メルマガをご参照ください。

製図試験 com インフォメーション

名称：製図試験 com

(<http://seizushiken.com>)

運営：有限会社 I.L.D. 教育事業部

連絡先：〒554-0012

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階

電話 06-7181-3701 FAX 020-4665-1911

メール：guchi@seizushiken.com

銀行：ジャパンネット銀行すずめ支店

普) 3175127 ㊿ アイエルディ

郵便振替：00970-2-222802 ㊿ アイエルディ

関連サイト：

FB <http://facebook.com/seizushiken/>

ツイッター <http://twitter.com/seizushiken/>

東京講習会場：

親交セミナールーム

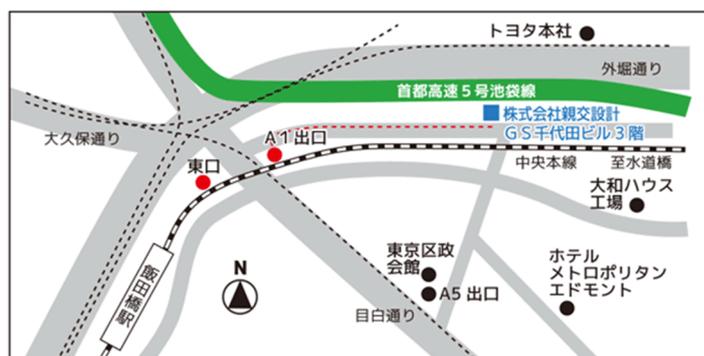
〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 3 階



I.L.D.inc.
製図試験.com
〒554-0012
大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階
tel:06-7181-3701 fax:020-4665-1911
guchi@seizushiken.com

JR 西九条駅 左手階段
阪神西九条駅 3 番出口
徒歩 3 分



JR 中央本線飯田橋駅東口より徒歩 5 分
東京メトロ飯田橋駅 A5 出口もしくは A1 出口より徒歩 4 分



主宰：山口 達也 (ハンドルネーム：曾根 徹)

1962 年 11 月 26 日生

大阪工業大学建築学科都市計画研究室

神戸大学環境計画学専攻、工学修士 (早川和男研究室)

阪神電鉄就職後、レンゾピアビルディングワークショップに転職。

都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、

有限会社 I.L.D. を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、
2000 年に「学科製図.com」を設立。

17 年間で 2,600 名以上の一級建築士を輩出。

2015 年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。

一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。

業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。

2018 年より学科試験.com も同時に主宰。